

## 競技注意事項

### 1. 規則について

本大会は2015年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

### 2. 代々木公園陸上競技場（織田フィールド）使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣については、管理事務所付設の更衣室を使用することができる。貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 3) 主催者の許可なく、競技場内のすべての電源の使用を禁止する。
- 4) 競技場内外を問わず、場所取りは厳禁とする。ただし、競技場外に荷物置場のためのスペース（[諸室図](#)参照）を確保するので譲り合って使用すること。

### 3. 練習について

- 1) 14:00～15:45 までトラック内で練習をすることができる。フィールド競技の練習については、競技役員の指示に従って競技開始前にそれぞれの競技実施場所で行うこと。ただし、競技運営の都合上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- 2) ハードルの設置は、以下の通りとする。

競技種目		練習場所
男子	110mH	ホームストレート（7レーン）
	400mH	第1曲走路からバックストレート（7レーン）
女子	100mH	ホームストレート（5レーン）
	400mH	第1曲走路からバックストレート（5レーン）

- 3) 周回レースが行われていない時間帯（17:40～18:15）についてのみバックストレートを開放する。競技役員の指示に従い、事故防止には万全を期すこと。
- 4) 走高跳の練習は主催者で用意したゴム製バーを使用して行う。
- 5) サークルを使用する投てき種目の公式練習は1回につき1人1分以内とする。

### 4. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは大会当日に選手受付（[諸室図](#)参照）にて正規のものを2枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでも良い。なお、一部の選手、リレー種目出場者には氏名またはチーム名標記のナンバーカードを配付する。胸に氏名またはチーム名標記、背に番号標記のナンバーカードをつけること。
- 2) トラック種目出場者は招集時に配付する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方につけること。
- 3) すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。
- 4) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種目	配色
男子全種目	黄地×黒文字
女子全種目	ピンク地×黒文字

5. 競技者の招集について

- 1) 招集所は 3000m障害水濠奥の用器具庫付近（[諸室図](#)参照）に設置する。
- 2) 各種目の招集時刻は以下の通りとする。なお、招集時刻は競技日程を基準とする。

競技種目		ラウンド	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	全種目（リレー種目を除く）	決 勝	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
	リレー種目	決 勝	競技開始 35 分前	競技開始 20 分前
フィールド	跳躍種目	決 勝	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
	投てき種目	決 勝	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

- 3) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、当該競技の招集完了時刻までに本人または代理人が重複届（招集所に用意）を競技者係（招集所）に提出すること。
- 4) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので注意すること。
- 5) リレー種目は、オーダー用紙（招集所に用意）を記入の上、招集完了時刻 1 時間前までに競技者係に提出すること（メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと）。

6. 競技エリアへの入退場について

- 1) 招集所にて点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い競技エリアへ入場すること。
- 2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通過して退場すること。

7. 棄権について

関東学連ウェブサイトの[大会特設ページ](#)にエントリーリスト掲載（7月18日予定）後、病気または事故等によりやむなく棄権する場合は、次のいずれかの方法で不出場届を提出すること。

- 1) 7月23日（木）17:00 までは[関東学連ウェブサイト](#)より「不出場届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAX（03-5411-1499）にて提出すること。
- 2) 7月23日（金）17:00 以降および大会当日は招集所に用意してある「不出場届」に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。なお、未提出のまま欠場をした場合は、今後本大会に招待をしない可能性がある。

8. 番組編成について

- 1) 本大会は欠場者を除いた競技者により、大会前々日（24日）に番組編成を行う。確定した番組編成は関東学連ウェブサイトの大会特設ページに掲載し、大会当日、公式プログラムとは別に番組編成リストを配付する。
- 2) トラック種目のレーン順は、番組編成リスト記載通りとする。なお、競技者数よりレーン数が多い場合は、常に、内側のレーン（1レーンに限らず）を空ける。
- 3) 800mに関しては、1つのレーンに2名入る場合がある。
- 4) フィールド競技の試技順は番組編成リスト記載順とする。

9. 用器具について

競技に使用する用器具（やりを除く）は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。やりに関しては持ち込みを希望する場合は招集完了時刻 1 時間 30 分前から 1 時間前までに 3000m 障害水濠奥の用器具庫（[諸室図](#)参照）にて技術総務兼公式計測員の検査を受けること。検査に合格したやりについては「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。なお、競技終了後に競技実施場所にて、「預り証」を確認の上、技術総務兼公式計測員が返却する。

10. 競技について

- 1) トラック種目の計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。
- 2) 不正スタートは 1 回で失格とする。
- 3) 安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- 4) 走幅跳・三段跳・投てき種目については 2 回の試技で上位 8 名を決定し、以後 2 回の計 4 回までの試技とする。
- 5) 女子三段跳の踏切板の位置は砂場の近いほうの端から 11m とする。
- 6) 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、気象条件等で変更することがある。

走高跳 (男子)	1	2	3	4	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3 c m 刻みとする。
	2.00	2.05	2.10	2.13	
走高跳 (女子)	1	2	3	4	
	1.60	1.65	1.68	1.71	

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

11. 表彰について

- 1) 各種目とも 3 位までを表彰し、副賞を授与する（2 組以上の場合はタイムレース上位 3 位とする）。対象者は選手受付にて受け取ること。
- 2) 全種目を通して最も優秀な成績を収めた男女各 1 名に最優秀選手賞を授与する。

12. 抗議について

- 1) 各種目の結果の正式発表は記録掲示板（[諸室図](#)参照）に貼り出す事により行う。場内アナウンスでも発表は行うが、記録掲示板への貼り出し時刻が抗議の基準となるので注意すること。
- 2) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて口頭で審判長になされなければならない。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なされる。抗議に対して審判長は速やかに裁定する。

### 13. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守し、基準をこえる商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。競技開始前の場内練習もこれに含まれる。なお、学校名やマークの表示は衣類の前部および後部にそれぞれ一ヶ所となったため特に注意すること。

### 14. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医務員が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2015年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

### 15. その他

- 1) 2015年度日本陸上競技連盟競技規則の修改正点について特に注意すること。
- 2) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。
- 3) 競技運営上、競技日程に変更が生じる場合がある。
- 4) 大会当日に出たゴミは、必ず各自で持ち帰り、処分すること。駅などの周辺施設に廃棄しないこと。
- 5) 主催者では駐車場を用意しないので、近隣のコインパーキングを利用すること。また、競技場前への車両での乗り入れも厳禁とする。
- 6) 盗難・紛失について  
主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。遺失物等はフィニッシュ側ゲート付近の一般受付テント（[諸室図](#)参照）で管理する。
- 7) 代々木公園陸上競技場（織田フィールド）開門および閉門時刻について  
開門 14:00                      閉門 20:15
- 8) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟